## 重症熱性血小板減少症候群:SFTS

- 2011 年に中国の研究者により初めて報告された新規のSFTS ウイルス(<del>ブニヤウイルス科フレボウイルス属</del>) (フェヌイウイルス科バンダウイルス属) による新興感染症である.
- 致死率が高いこと, 重症例では出血症状が認められること, 患者の血液・体液に接触した者が感染すること, などの特徴がある.

重症熱性血小板減少症候群診療の手引き2024年版:引用文献